

平成26年度外部評価に対する担当課の考え一覧

| No | 事業名       | 担当課       | 市の評価<br>(内部評価) | 市の評価意見  | 外部評価           | 外部評価員意見   | 26年度<br>予算<br>(千円) | 27年度<br>予算<br>(千円) | 対応及び担当課の考え  | 27年度に向けての<br>市の評価 |
|----|-----------|-----------|----------------|---|----------------|---|--------------------|--------------------|---|-------------------|
| 1  | 文化財保存活用事業 | 生涯学習スポーツ課 | 簡易な改善<br>(拡大)  | 多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくりのため、文化財の保存活用は重要な取組みである。更なる情報発信に努め、市民が身近に感じられるよう工夫する必要がある。 | 進め方の改善<br>(拡大) | 文化財をただ保存するだけではなく、活用しながら保存するために、もっとはつきり分かるようPRをすべきである。須坂市民だけでなく、広く活用のための広報するやり方を検討していただきたい。<br>後世に伝え受け継ぐためにも、若い人たちに須坂の文化財の素晴らしさは伝わっているのか。関心のある地元の若い人達から須坂市の文化財の良さが伝わり、それが若い人から若い人へ伝搬していく、そうすることで新しいアイデアが出てくる。<br>良い意味でゆるい文化政策をとることで発展していくのではないか。自主的に楽しみながら活動してくれる地元の人達は地域の宝であるので、市民と共に文化財を活用する動きをさらに創っていただきたい。 | 15,463             | 11,052             | 市ホームページの須坂市文化財データベース「信州須坂のおたから」などを通じて、須坂市の文化財を市民だけではなく、市外・県外へ向けても広く発信し、市民と共に文化財を活用する方法を検討します。<br>また、今後とも博物館講座「臥竜山たんけん」や繭の糸取り体験、埋蔵文化財発掘体験などの開催を通じて、子どもの頃から強度の自然や文化財への興味や関心が高まる事業を積極的に進めます。 | 簡易な改善(拡大)         |
| 2  | 賦課徴収事務費   | 税務課       | 簡易な改善<br>(拡大)  | 差し押さえなど積極的に行ったことから収納率の向上が図られた。引き続き、適切な徴収と課税客体の把握に努める。                             | 簡易な改善<br>(拡大)  | 市民の義務として税金は納めるのが当たり前であり、税金を納めている人に不公平にならないようにすべきである。県の滞納整理機構を活用し、須坂市の滞納案件も機構で取組んでいるが、市としても滞納整理をさらに徹底し、滞納者に対して毅然とした態度をとって取組むべきである。滞納整理の取組みをもっと分かりやすく市民に知ってもらい、税金を納める市民が誇りを持てるよう、収納率向上に努めていただきたい。   | 95,141             | 91,435             | 引き続き、税の公平性確保と滞納繰越額削減のため、収入や財産があるにもかかわらず納付しない滞納者に対しては、毅然とした態度で滞納処分を行なっていきます。<br>また、広報すざか27年2月号に滞納整理機構に関する記事を掲載しましたが、今後も機会を捉えて、滞納に関する周知・啓発記事を掲載していきます。                                      | 簡易な改善(拡大)         |

| No | 事業名          | 担当課 | 市の評価<br>(内部評価) | 市の評価意見   | 外部評価           | 外部評価員意見   | 26年度<br>予算<br>(千円) | 27年度<br>予算<br>(千円) | 対応及び担当課の考え   | 27年度に向けての<br>市の評価 |
|----|--------------|-----|----------------|--|----------------|---|--------------------|--------------------|--|-------------------|
| 3  | 防災危機管理<br>事業 | 総務課 | 進め方の改善<br>(拡大) | 日頃の準備にあわせ総合<br>防災訓練などの実施にあ<br>たっては、より実践に近<br>い訓練となるよう想定な<br>どに改善が必要である。<br>また、自治会、地域にお<br>ける防災訓練が、すべて<br>の自治会でできるようさ<br>らに取組みを強化する必<br>要がある。 | 進め方の改<br>善(拡大) | 防災広報や避難の仕方は一つの方法で完<br>璧ということではなく、今は多様な方法で<br>情報を得る手段があるので、市民が様々<br>な周知方法を知って情報を入手できるよ<br>うにすることが大事である。それを市民<br>が上手く利用できるよう、広報すること<br>が必要である。<br>これまでの災害でも自助と共助によって<br>助けられた人は多い。そのコミュニティ<br>をどう作っていくか、普段からの公助と<br>いう情報提供を受けて、公助と自助と共<br>助が有機的につながり機能するよう、横<br>断的に考えているいろいろな組織や部署、地<br>域と連携をはかり、事業をさらに充実さ<br>せていただきたい。 | 14,787             | 11,391             | 防災広報は、市報や市のホーム<br>ページ、SNSなどのインター<br>ネットサービスなど須崎市が運<br>用している広報媒体を活用して<br>市民への周知を行うとともに、<br>防災に関する会議等において<br>は、広報チラシを配布し、説明<br>を行います。<br>避難の仕方等については、出<br>前講座や防災学習会などで市民<br>へ周知します。  | 進め方の改善(拡大)        |
| 4  | 地域福祉推進<br>事業 | 福祉課 | 簡易な改善<br>(拡大)  | 福祉は地域の時代を迎え<br>る中で、各種団体活動を<br>はじめとした市民の力が<br>重要となる。地域に見<br>合った改善を図りながら<br>推進していく。  | 進め方の改<br>善(拡大) | 事業内容は福祉課以外の課や外部団体にも<br>関わるものなので、せっかくある報告<br>をもう少し踏み込んで分析してみても<br>どうか。今後の市の方向性を考える際にも<br>活用できる数字になる。この中に今後の<br>方向性のヒントも含まれているのではな<br>いか。<br>支援相談や調査・実態把握の取組みをは<br>じめ、地域での活動を通じての民生児童<br>委員の思いと活動実績から、地域課題の<br>傾向と市が課題解決に力を入れていかな<br>ければならないと考えていることとの方<br>向性が一致するよう、できるところから<br>調査結果報告の分析把握をすべきであ<br>る。                | 86,801             | 87,935             | 毎月実施していただいている民<br>生児童委員の活動記録は、民生<br>児童委員の活動の振り返りをす<br>るためのツールです。活動支援<br>ではなく、振り返りツールから<br>地域の課題等が見えてこない<br>か、そのような活用ができない<br>かということですので、今後は<br>民生児童委員協議会等におい<br>て、調査、活用ができないか検<br>討します。それをもって、市の<br>課題との方向性等とすり合わせ<br>ができないか研究してまいりま<br>す。 | 簡易な改善(拡大)         |

| No | 事業名       | 担当課   | 市の評価<br>(内部評価) | 市の評価意見   | 外部評価           | 外部評価意見   | 26年度<br>予算<br>(千円) | 27年度<br>予算<br>(千円) | 対応及び担当課の考え  | 27年度に向けての<br>市の評価 |
|----|-----------|-------|----------------|--|----------------|--|--------------------|--------------------|---|-------------------|
| 5  | 観光・誘客宣伝事業 | 商業観光課 | 進め方の改善<br>(拡大) | 誘客事業は、市単独から広域的な取組みへと変化してきている中で、関係市町村や関係団体と連携を一層密にし、取組みを継続してきている。特に、大都市圏での誘客は今後も引き続き積極的に展開することが求められる。 | 進め方の改善<br>(拡大) | 平成24年度の外部評価に沿って事業を整理統合したが、事業成果を出すためにも、このような事業に対しては堅く形式張って考えず、「軽い」「柔軟」という視点は非常に重要な感覚である。「この程度ではだめだ」とか、「どうせやってもしょうがない」とは考えず、「ダメでもともと」という柔軟な考えで、どんどん実行していただきたい。   | 57,838             | 72,038             | 関係市町村や関係団体等と連携をしながら、信州須坂プロモーション事業を中心とした観光誘客を、引き続き積極的に行います。  | 進め方の改善(拡大)        |
|    | 地域活性化事業   | 政策推進課 | 進め方の改善<br>(拡大) | 人を集め、人と人とのネットワークづくりを進めた。さらに、地域に人を呼び、集い、賑わいのある地域づくりが必要である。  |                | 須坂市外の方々に広報するだけでなく、須坂市民に対しても自分のまちに誇りを持つよう積極的に働きかけていただきたい。   | 28,820             | 8,645              | 多くの市民に須坂の魅力を知っていただき、郷土に誇りを持っていただくため、市の様々な広報媒体での情報発信はもとより、須坂新聞社や須高CATV、NPO法人など身近なメディアとの連携も強化し、きめ細かな情報発信を行います。  | 進め方の改善(拡大)        |
| 6  | 広聴広報事業    | 政策推進課 | 進め方の改善<br>(拡大) | 様々な広報媒体を活用した情報発信に努めている。今後、ツイッター・フェイスブックなどの一層の活用に向け研修会などが必要である。また、地域づくり市民会議への参加者拡大などに向け検討が必要である。      | 抜本的見直し<br>(拡大) | 市民からは、市民目線、民間視点を持った広聴広報の取組みに期待が集まっている。広報については、事業全てを政策推進課で行うのではなく、民間活力活用をすすめるべきである。当然丸投げではなく、市がチェックすべきところはあるが、情報発信やIT活用などは、もっと専門的にやっていたり、担いたい方は多くいる。職員が全部仕切る必要もなく、全てを担うことも不可能である。民間移管を進め、有効な活動の仕方を検討していただきたい。広聴についても、一堂に介さなくてもあらゆる機会や手段を活用し、幅広い世代や立場の市民や職員の意見を聴くことに努めていただきたい。 | 22,382             | 18,325             | 【広報】<br>引き続き市のあらゆる広報媒体を活用して情報発信を行うとともに、市の様々な広報媒体をPRしていきます。また、市公認ポータルサイト「いけいけすざか」運営のNPO法人SOHO支援協議会との連携を強化します。<br><br>【広聴】<br>幅広い世代やいろいろな立場の方々が気軽に意見を言える仕組みづくりを検討してまいります。 | 進め方の改善(拡大)        |
| 7  | 家庭児童相談事業  | 子ども課  | 進め方の改善<br>(拡大) | 児童虐待防止の上で重要な対応が求められる事業である。要保護児童対応件数が大幅に増加している上、ケース背景の複雑化により対応は難しくなっているため、今後の職員体制等も含め、見直しが必要である。      | 進め方の改善<br>(拡大) | 全体を把握できるコーディネータ機能として、家庭児童相談員が位置付けられているということなので、庁内外にもっと事業内容の周知を図り、様々な専門機関や関係部署と連携していただきたい。児童虐待については、命の大切さをアピールするために、パンフレットの配布だけでなく、対象者に直接伝える取組みにより、もっと市民の意識を高めるべきである。   | 6,441              | 7,164              | 家庭児童相談事業について、一層の周知を図り、支援が必要な児童に関する情報を集約し、スムーズな支援に繋げることができるよう努めます。<br>乳幼児の人権の大切さについて、H27年度より保護者向けの研修会を実施してまいります  | 進め方の改善(拡大)        |

| No | 事業名        | 担当課      | 市の評価<br>(内部評価) | 市の評価意見  | 外部評価       | 外部評価員意見   | 26年度<br>予算<br>(千円) | 27年度<br>予算<br>(千円) | 対応及び担当課の考え  | 27年度に向けての<br>市の評価 |
|----|------------|----------|----------------|---|------------|---|--------------------|--------------------|---|-------------------|
| 8  | 財政管理事業     | 財政課      | 総合計画に沿って継続     | 中・長期的な視点に立って適切な財政運営に努めた。引き続き、健全な財政運営に努めてほしい。                        | 進め方の改善(拡大) | 公有財産である市の施設について、財産管理は財政課で行っているが、施設管理は各担当課であるそうだが、施設が有効に活用されているか。施設担当課に一任ではなく、今後の維持管理費用の見込みや施設有効活用などの統一的な方針を定め、一元的に考えるべきである。分かりやすい財政広報について、財政課が広報資料作りの最初から最後まで担う必要はない。基となるデータは財政課から提供すると、広報資料作りは工夫し、地元の若者やデザインの専門知識のある者に任せることにより、市役所外の能力を活用して分かりやすく見やすい広報ができることと、資料作りを通じ須坂市をもっと知ってもらう取組みにもつながる。分かりやすく、見やすい広報を工夫すべきである。 | 7,641              | 7,591              | 公共施設は年数が経過することにより維持管理費が増加し、また、人口減少により公共施設の利用需要も変化が見込まれることから、今ある施設すべてを今後も維持し続けることは困難と思われる。そのため、公共施設の最適な配置と維持管理を行うための「公共施設等総合管理計画」の策定を進めています。財政状況をお知らせする広報資料は、現在も「見てみよう『須坂市の財政』(概要版)」など、できるだけわかりやすい資料づくりに努めています。今後は、他市の広報資料を参考にしたり、外部の方にご意見をいただくなかで、よりわかりやすい広報資料を作成します。 | 進め方の改善(拡大)        |
|    | 財産管理事業     | 財政課      | 総合計画に沿って継続     | 不要となった財産の売払いを進め、収入の確保に努めた。  |            |   | 43,685             | 33,745             | 進め方の改善(拡大)  |                   |
| 9  | 遊休農地解消対策事業 | 農林課      | 総合計画に沿って継続     | 農地の有効活用・促進の取組みを、引き続き関係団体と連携し促進する。各種助成制度活用や意欲ある農業者への継続した支援体制を一層充実する。 | 進め方の改善(拡大) | 現状の遊休農地解消政策では、歯止めにはならないのではないかと。後継者不足のほかに、環境などの悪条件によって荒廃せざるを得ない農地もあり、状況によってはその土地を有効利用させる「規制緩和」も一つの手段である。遊休農地解消に向け、農林課と農業委員会のみならず関係部署との連携・情報交換を多方面で行うべきである。   | 10,087             | 9,087              | これまでの解消事例を分析し、遊休農地解消のインセンティブを削がないレベルで対象経費を絞り込み、限られた予算を効率的に活用します。  | 簡易な改善(縮小)         |
|    | 農業委員会運費    | 農業委員会事務局 | 総合計画に沿って継続     | 農業委員会の改善が平成26年7月にあり、新体制においても、引き続き農地パトロールほかの対策を継続し、遊休農地解消に努めたい。      |            |   | 2,677              | 1,750              | 引き続き農地パトロール、利用意向調査等により、貸し借り等による遊休農地解消に努めます。また、農地転用基準の緩和等、必要と思われる要望を行います。  | 総合計画に沿って継続        |